

平原康多が軸の関東ライン

弥彦競輪場開設72周年記念「ふるさとカップ」は、7月28日〜31日の日程で開催される。今シリーズは関東勢の戦力が整っている。平原康多、吉田拓矢のS班2名をはじめとして地元の名重鎮・諸橋愛、徹底先行で力を付けてきた菊池岳仁ら充実のラインナップ。勝ち上がり戦から有利にレースを進めてV争いをリードしそうだが、他地区にも強豪がそろい決して一筋縄ではいきそうにない。Vのゆくえは果たして？

安定感の高さには定評がある平原康多。今年は勝ち星も多い。前期はG3開催の3Vを含み21勝を挙げていて、勝率は50%。昨年の39・1%を大きく上回っている。高松宮記念杯では東準決で落車のアクシデントに見舞わ



平原康多

れ、6月久留米記念を欠場もサマーナイトから復帰。この開催には更に調子の上積みが見込めるはずで、体調に不安はあるまい。この大会は一昨年に70周年を制しているし、昨年は寛仁親王牌で優勝していて相性がいバンク。吉田拓矢の存在も平原には追い風だ。ダービーの初日特選は逃げた吉田を差して白星スタートを決めると、ゴールデイレース賞は4番手確保からまくった吉田を交わして連勝の

実績がある。関東勢の大将格として主役を務める。吉田拓矢は順調にきている。ビッグレースでは決勝に乗り切れないものの、前期はG3開催で2Vを飾った。迫力を増している自力攻撃が奏功なら勝ち負けに持ち込める。この大会に素晴らしい実績を残しているのは地元の諸橋愛だ。67、68、69周年と3連覇を達成している。最近の伸びも良好で、高松宮記念杯では東準決2着で決勝進出、6月立川は目標の岩本俊が不発も直線鋭く伸びてVをゲットした。チャンスが巡ってくれば首位に躍り出る場面も大いにある。関東勢では菊池岳仁が注目株。6月は松戸G3で2②①⑥着、当所2①④着と先行力を猛アピール。関東の先頭で強気に攻める。

強力な関東勢を粉碎すれば三谷竜生か。最近では切れのいい動きを披露していて、6月は取手記念1①①③着、高松宮記念杯1⑧⑤①着、四日市1①②着と白星ラッシュだ。好位置を占めて自力を出せば好勝負に持ち込める。三谷とタッグを組む東口善朋は体調が気になり。ダー



吉田拓矢

自力攻撃の破壊力なら宮本隼輔もかなりのもの。ダービーでは1⑤①⑦着と2勝を挙げている。だが、高松宮記念杯の最終日に落車しているので、体調が浮沈の鍵となりそう。



諸橋愛

「ふるさとカップ」 in 弥彦 出場予定選手

※2022年7月20日現在のデータです。

級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点
SS	平原康多	埼玉	87 期	117.84	S1	松谷秀幸	神奈川	96 期	109.94	S2	城戸崎隆史	福岡	76 期	89.13	S2	河野通孝	茨城	88 期	105.25	S2	市橋司優人	福岡	103 期	102.16
SS	吉田拓矢	茨城	107 期	115.86	S1	小松崎大地	福島	99 期	110.75	S2	竹田和幸	岐阜	78 期	97.29	S2	杉山悠也	秋田	89 期	101.50	S2	堀兼壽	岐阜	105 期	91.94
S1	白戸淳太郎	神奈川	74 期	104.84	S1	窓場千加頼	京都	100 期	101.29	S2	吉永好宏	広島	80 期	100.52	S2	伊藤大彦	徳島	89 期	98.95	S2	小笹隼人	奈良	105 期	97.66
S1	堤洋	徳島	75 期	104.30	S1	三谷竜生	奈良	101 期	112.30	S2	牧剛央	大分	80 期	100.10	S2	橋本勝弘	愛媛	89 期	100.00	S2	阿部拓真	宮城	107 期	104.06
S1	香川雄介	香川	76 期	110.25	S1	末木浩二	山梨	109 期	107.33	S2	松坂英司	神奈川	82 期	95.04	S2	吉本卓仁	福岡	89 期	106.09	S2	中川勝貴	福井	109 期	98.69
S1	諸橋愛	新潟	79 期	116.23	S1	大石剣士	静岡	109 期	105.16	S2	大塚英伸	静岡	82 期	101.00	S2	高橋雅之	千葉	90 期	98.80	S2	寺沼将彦	東京	111 期	95.41
S1	友定祐己	岡山	82 期	99.61	S1	島川将貴	徳島	109 期	108.25	S2	小林圭介	茨城	83 期	98.45	S2	齋藤友幸	静岡	90 期	88.85	S2	染谷幸喜	千葉	111 期	100.24
S1	大塚健一郎	大分	82 期	104.40	S1	血屋豊	三重	111 期	107.91	S2	台和紀	埼玉	83 期	95.75	S2	金澤幸司	福島	91 期	89.13	S2	下岡将也	三重	111 期	93.11
S1	佐々木雄一	福島	83 期	107.15	S1	黒沢征治	埼玉	113 期	104.21	S2	大木雅也	静岡	83 期	98.79	S2	石川雅望	群馬	91 期	99.79	S2	今岡徹二	広島	111 期	101.50
S1	竹内智彦	宮城	84 期	105.59	S1	宮本隼輔	山口	113 期	109.30	S2	工藤政志	青森	84 期	97.58	S2	内田英介	東京	91 期	99.48	S2	久保田泰弘	山口	111 期	96.48
S1	吉田敏洋	愛知	85 期	102.31	S1	上田亮弥	熊本	113 期	105.71	S2	山口貴弘	栃木	84 期	95.50	S2	小堺浩二	石川	91 期	103.53	S2	藤根俊貴	岩手	113 期	99.30
S1	東口善朋	和歌山	85 期	112.50	S1	佐々木悠葵	群馬	115 期	108.13	S2	石毛克幸	千葉	84 期	100.32	S2	鷲田幸司	福井	92 期	100.08	S2	小原文一郎	青森	115 期	101.76
S1	岡村潤	静岡	86 期	105.92	S1	菊池岳仁	長野	117 期	110.04	S2	西岡正一	和歌山	84 期	100.11	S2	佐藤一伸	福島	94 期	107.44	S2	鈴木涼介	福島	115 期	90.03
S1	村上博幸	京都	86 期	107.00	S1	松本秀之介	熊本	117 期	106.45	S2	吉本哲郎	広島	84 期	97.58	S2	小川祐司	愛媛	96 期	94.12	S2	小畑勝広	茨城	115 期	97.18
S1	坂本健太郎	福岡	86 期	109.85	S2	近藤修康	岡山	67 期	95.04	S2	高比良豪	福岡	84 期	89.30	S2	中井太祐	奈良	97 期	104.73	S2	宮下一步	長野	115 期	97.00
S1	成田和也	福島	88 期	115.22	S2	伊藤健詞	石川	68 期	96.00	S2	藤原憲征	新潟	85 期	102.52	S2	田中陽平	熊本	97 期	89.59	S2	櫻井祐太郎	宮城	117 期	105.00
S1	松坂洋平	神奈川	89 期	109.93	S2	布居寛幸	和歌山	72 期	92.11	S2	佐藤互	愛知	85 期	90.82	S2	吉田茂生	岐阜	98 期	103.72	S2	鈴木玄人	東京	117 期	90.38
S1	飯野祐太	福島	90 期	106.87	S2	江守昇	千葉	73 期	102.00	S2	伊藤大志	青森	86 期	99.50	S2	保科千春	宮城	100 期	101.00	S2	青野将大	神奈川	117 期	102.66
S1	田中晴基	千葉	90 期	104.14	S2	小川将人	愛知	75 期	91.84	S2	佐々木省司	青森	86 期	99.33	S2	横山尚則	茨城	100 期	105.12	S2	長田龍拳	静岡	117 期	96.07
S1	池田良	広島	91 期	104.35	S2	小笠原昭太	青森	76 期	95.29	S2	矢口啓一郎	群馬	86 期	94.59	S2	笠松将太	埼玉	100 期	96.70	S2	兼本将太	熊本	117 期	99.68
S1	鈴木庸之	新潟	92 期	101.38	S2	江連和洋	栃木	76 期	99.58	S2	吉田勇人	埼玉	86 期	93.66	S2	大西貴晃	大分	101 期	101.38					
S1	坂口晃輔	三重	95 期	110.70	S2	児玉慎一郎	香川	76 期	96.11	S2	近藤俊明	神奈川	87 期	98.71	S2	元砂勇雪	奈良	103 期	101.74					

上田 堯弥 (熊本/113期)

前期は落車負傷による欠場もあってあまり勝てずにいたが、5月佐世保全プロ記念競輪①②着あたりから勝ち星が増えてきた。底力はあるので、そろそろG3開催でも上位進出が期待できる。



阿部 拓真 (宮城/107期)

一息不足の場所が続いていたが、ダービーで4走目、5走目と連勝してから躍動感が甦ってきた。6月松戸G3で決勝に乗ると、同月伊東では今年初Vをゲットした。G3開催には実績があるので注目したい。



櫻井 祐太郎 (宮城/117期)

直近4カ月の連がらみは87%が先行してのもので、相変わらず競走は積極的だ。F1戦では優参が増えてきたし、直近4カ月の連対率は5割に達した。一次予選はもちろん、二次予選あたりでも侮れない。

地元地区推奨選手

俺の出番だ!!



藤原 憲征

(新潟/85期)

今年の滑り出しは失格、落車続きで躓いたが、ここ3場所の予選は確定板を外しておらず、7月静岡は準決2着で今年初優参。この大会は57周年を制覇している。関東勢が充実している今節は上位進出を果たしたい。

末木 浩二

(山梨/109期)

ダービーでは⑨②①②着、一次予選敗退も3連対の活躍を演じた。その後も6月伊東①②③着、7月静岡④②②着と好走している。当所は昨年5月にS級初Vを3連勝で飾っている。ゲンのいい地元バンクで躍動するか。



「ふるさとカップ」in 弥彦 出場予定選手

※2022年7月20日時点

主力選手プロフィール										直近12場所成績										総合評価									
選手名		出身地		期		出走		勝利		連対		逃		捲		追		成績		目		特別		成績		目		特別	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山		和歌山	
和歌山 和歌山		和歌山		和歌山																									